

「安心・安全&エコ」を目指した新校舎に120kWの太陽光発電 停電時には非常用電源となり、防災拠点としての機能も向上



導入先

学校法人 大阪貿易学院 開明中学校・高等学校さま

- 大阪府大阪市
- 1914年設立。大阪府内屈指の国公立大学進学校。創立100周年の2014年、新校舎を開設。屋内運動場や地下温水プール、最新設備の特別教室のほか、職員室内質問コーナーやカウンセラー室を設置されるなど、充実の学習環境で生徒たちの成長をバックアップ。



導入商品

多結晶太陽電池モジュール

ND-193CA×624枚=120.12kW

- 2014年3月、8階建ての新校舎屋根（金属製折板屋根）に設置。万一の災害時にも役立つように、大規模に導入。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

新校舎の建設にあたり、生徒の安全・安心を最優先に考慮。免震構造と独立電源の確保は設計段階から必須でした。また、最新のエコ技術を随所に取り入れ、地球環境への関心や意識が高まる未来型の学校を目指しました。

地球環境に配慮したエコスクールの実現に、自然エネルギーを活用する太陽光発電が大きく貢献。

停電時には自立運転に切り替わり、昼間の非常用電力に。地域の防災拠点としての役割も果たします。

校舎屋根のほぼ全面に敷設したことで遮熱効果も発揮。夏場の室内温度上昇を抑えてくれます。

